

愛知県感染症情報

平成 13 年第 40 週（10 月第 1 週）

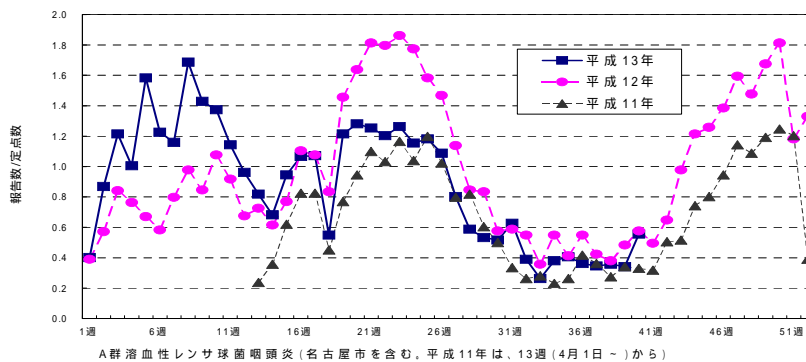
（コメント）

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が増加してきました。第 38 週の全国状況にもあるように、これから流行時期に入りますので注意してください。

先生方からのコメントに麻疹の報告が見られますので注意してください。

（麻疹様疾患の集団発生について）

師勝保健所管内の専門学校で、学生 1,100 人のうち、10 月 11 日現在、29 人が麻疹または麻疹様疾患で欠席、このうち 6 人が入院しました。発生のピークは 10 月 7 日の 55 人でした。



（定点の先生方からのコメント）

● 尾張西部地区

・ 水痘（ワクチン済）3 歳男。麻疹あり ワクチン歴なし 1 歳男
（一宮市 あさのこどもクリニック）

・ 病原性大腸菌 01 23 歳女
（尾西市 城後小児科）

・ 麻疹が出て参りました。
（春日町 丹羽医院）

● 尾張東部地区

・ 嘔吐を主訴とする胃腸炎が見られる様になりました。病原性大腸菌 01
1 人。

（犬山市 武内医院）

・ SSSS(4S)（ブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群）1 例あり。麻しん 1 例。その他喘息発作多し。

（岩倉市 なかよしこどもクリニック）

- ・ 溶連菌感染症、手足口病の小流行が続いています。気管支喘息の患者さんが比較的多く見られます。
(江南市 みやぐちこどもクリニック)
 - ・ 溶連菌感染症がやや増加しております。病原性大腸菌感染015 4歳男
(瀬戸市 津田こどもクリニック)
 - ・ 麻疹 ワクチン未接種 1歳女
マイコプラズマと思われる症例が目立ちます。その他水痘、手足口病、流行性耳下腺炎、溶連菌感染症等散発。
(尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院)
 - ・ マイコプラズマ肺炎 2例あり(小学生)
(南知多町 医療法人大岩医院)
 - ・ 異型肺炎が散発、麻疹(双胎) 回復頃百日咳
(美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院)
 - ・ 麻疹肺炎の入院2名。仮性クループあり。
(小牧市 小牧市民病院)
 - ・ マイコプラズマ肺炎3例ありました。
(春日井市 朝宮こどもクリニック)
 - 西三河地区
 - ・ マイコプラズマ 8歳女。サルモネラ04と病原性大腸菌0159 7歳男
(岡崎市 花田こどもクリニック)
 - ・ サルモネラ04 3歳男、カンピロバクター 4歳女
(岡崎市 川島小児科水野医院)
 - ・ 病原性大腸菌06 V T(-)7ヶ月、サルモネラ04 1歳、カンピロバクター9歳
(幸田町 とみた小児科)
 - ・ 手足口病がまだ少し目立つ以外特に感染症は認められませんでした。
(西尾市 山岸クリニック)
 - 東三河地区
 - ・ 溶連菌感染症5歳女、2歳男(姉、弟)。サルモネラ腸炎09 2名(3歳女、10歳男)。マイコプラズマ様肺炎の児が時にいます。
(豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科)
 - ・ マイコプラズマ肺炎 7歳男
(小坂井町 医療法人宝美会総合青山病院)

(1 ~ 3 類感染症の発生状況)

腸管出血性大腸菌感染症患者 5 名

- ・ 足助保健所から報告の 57 歳男。9/17 発病、9/20 初診、10/1 診定。菌型は 0157 VT1・2 (+)。
- ・ 豊橋市保健所から報告の 14 歳男。9/26 発病、9/27 初診、10/2 診定。菌型は 026 VT1 (+)。
- ・ 西尾保健所から報告の 22 歳男。9/23 発病、9/30 初診、10/4 診定。菌型は 0157 VT2 (+)。
- ・ 豊田市保健所から報告の 26 歳女。9/30 発病、10/1 初診、10/5 診定。菌型は 0157。
- ・ 岡崎保健所から報告の 38 歳女。9/28 発病、10/2 初診、10/6 診定。菌型は 0157 VT2 (+)。

腸管出血性大腸菌保有者 1 名

- ・ 津島保健所から報告の 60 歳女。10/2 初診、10/5 診定。
菌型は 0157 VT2 (+)。

(全数把握の 4 類感染症の発生状況)

アメーバ赤痢患者 1 名。

第 38 週 (9 月 17 日 ~ 9 月 23 日) の 4 類感染症の全国状況

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は第 34 週より定点当たり報告数が増加傾向にあり、第 38 週の定点当たり報告数は過去 5 年間の同時期と比べやや多くなっている。今後、年末・年始のピークシーズンに向け患者数の増加が予想される。伝染性紅斑は例年であれば最も患者数が少ない時期であるが、過去 5 年間の同時期と比較してかなり定点当たり報告数が多くなっている。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少傾向にあるものの、第 19 週よりここ 10 年間で最大の定点当たり報告数が持続している。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数が多くなっているのは、石川県 (6.6)、沖縄県 (4.2)、佐賀県 (3.1)、富山県 (3.5) などである。流行性角結膜炎は、宮崎県で定点当たり報告数 7.3、香川県で 5.3 と多くなっている。

(Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供)